



19-20年度スローガン「福島ロータリープライド」 <http://www.f-rotary.com/>

ROTARY CLUB of FUKUSHIMA 福島ロータリークラブ会報

vol.

6

2019.8.22 thu



福島ロータリークラブ
Facebook ページ

<https://www.facebook.com/fukushimarotary/>



【例会場】福島市上町 4-30
クラーリアンテ サンパレス
【例会日】木曜日 12:30
【事務所】福島市栄町 5-1
ホテル辰巳屋 7F
【TEL】024-524-1010
【FAX】024-524-1011
【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp
info@f-rotary.com

》 会長あいさつ 《



2019-20 年度会長
右近 八郎

本日は第2回目のガバナー補佐訪問となっています。遊佐金一 東北第一分区分区ガバナー補佐、濱崎広志 分区分区幹事、川俣ロータリークラブ池田義寛 会長、古川壮一 幹事をお迎えしています。ガバナー補佐にはのちほどスピーチをお願いしています。

まず情報提供ですが、RI 国際ポリオプラス委員長のマイケル・マクガバン委員長より本日未明にガバナーとクラブ会長宛にメールがあり、ナイジェリアでの野生ポリオウイルス感染から3年間が経過し、来年にはWHOによりアフリカ地域で野生ポリオウイルスなしと認定される予定です。残る地域は東地中海地域のパキスタンとアフガニスタンであり、今後ともポリオウイルス根絶に向けてご協力をお願いしたいとのことでした。

さてお盆休み前の8/8(木)、9(金)の2日間、福島県青少年会館にてRI第2530地区IAC年次大会が開催されましたので、その話題を提供させていただきます。開会式でホストクラブ福島東稜高校IACのスポンサークラブ会長である私がいさつをしました。若い方々が相手ですので、ひとしきりロータリークラブの紹介を行い、その中で以下のような話をさせていただきました。

『ロータリークラブの目的が「職業の場で自己研鑽することで、世のため他人のためになることを行う」ことであると同様に、IACの目的は「教育の場で自己研鑽することで、世のため他人のためになることを行う」ことであり、これがロータリークラブの唱える「奉仕」です。しかし「奉仕」のみではうまくいかないことが多く、今日ここにお集まりいただいているように、思いを同じくする仲間と集い意見交換をして交流する「親睦」を通して「奉仕」が実現されます。これらの「奉仕」と「親睦」はロータリークラブ活動の両輪であり、もちろんIACの活動の両輪です。IAC年次総会に参加いただき「親睦」を通して、明日の奉仕活動の糧としてください。』

IAC支援は新世代奉仕活動(教育)の一つですが、教育は組織にとって第一の使命です。教育とはパラダイムの再生産であり、旧世代の自己研鑽こそがその前提条件となっています。これからもロータリアンとして新世代奉仕の重要性を認識していただくをお願いして、本日の会長あいさつとさせていただきます。

本日のプログラム

ガバナー補佐スピーチ

RI第2530地区 東北第一分区分区
ガバナー補佐 遊佐金一様

》 例会次第 《

開会点鐘 右近八郎 会長

ロータリー・ソング「我等の生業」

ソングリーダー 渡邊又夫 会員

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

RI第2530地区 東北第一分区分区

ガバナー補佐 遊佐金一様(二本松RC)

RI第2530地区 東北第一分区分区

幹事 濱崎広志様(二本松RC)

川俣ロータリークラブ 会長 池田義寛 様

川俣ロータリークラブ 幹事 古川壮一 様

ごあいさつ

川俣ロータリークラブ 会長 池田義寛 様

会長あいさつ 右近八郎 会長

幹事報告 菅沼 裕 幹事

各委員会報告

■例会小委員会 ニコニコBOX担当

八子英器 委員

閉会点鐘 右近八郎 会長



渡邊又夫 会員
ソングリーダー



八子英器 会員
ニコニコBOX担当

》 幹事報告 《

例会変更のお知らせ

●福島北RC、27日の例会は8/26(月) 東北第二分区分区インターシティーミーティングへの振替休会となっております。

その他のお知らせ

●8/25(日) 青少年奉仕委員会セミナーが、南東北総合卸センターにて開催されます。当クラブからは菅沼裕幹事が出席されます。

●会員の皆様に小型名簿校正原稿をFAXしております。返信がまだの方は事務局まで、ご返信くださいますようお願い致します。

●8月ロータリーレートは1ドル108円となりますのでお知らせ致します。

ガバナー補佐スピーチ

RI第2530地区 東北第一分区

ガバナー補佐 ゆさ きんいち
遊佐 金一様



福島ロータリークラブ、第69代右近八郎会長はじめ会員の皆さん、こんにちは。

本日は第2回のガバナー補佐訪問に濱崎幹事と共に訪問させていただきました。

常日頃は、わが二本松ロータリークラブの親クラブとして、58年もの長い間大変お世話になっておりますことに、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

また、昨年度は古侯ガバナー補佐におかれましては一年間大変お疲れ様でした。

右近会長は、「自分と自分の職業を磨くことで地域社会から広く国際社会で奉仕活動を促進・支援することで、より良い世の中を目指すとともに、仲間と親睦を深め豊かな人生を送ること」を基本テーマとしております。すなわち、ロータリーの主役はクラブ会員一人ひとりであり、その一人ひとりの会員が実り豊かな人生を送ることが本質であり、そのような仲間と共に奉仕活動を行っていきたくと申しております。一年間、右近会長の素晴らしいリーダーシップを大いに発揮して頂き、70周年に向けて、実りの多い一年にして頂きたいと思っております。

まずは、本年度のわたくしの所信をお話させていただきます。

2019-20年度RIテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」であります。

このテーマを最初に聞いたとき、とても分かりやすく、あまりにも奥深い事と感じました。東北7クラブには、それぞれ素晴らしい事業が地域に溶け込み育っており、それらの活動や運動を「つながり」を持ちながら大きく成長させて、色々な事にチャレンジしていかねばいけないと考えます。

さらに本年度は、2020東京オリンピック・パラリンピック、更には聖火リレーの福島スタートの準備が本格化します。

復興五輪としてこれまで国内は勿論、世界中のロータリアンから頂いた御支援に対する感謝の思いと、本県の復興が着実に進んでいる姿を発信する絶好の機会です。東北7クラブと連携をしながら確実に先に進めたいと思っております。

これから、東北7クラブに積極的に足を運び、クラブ会員が笑顔になっていただけるよう、全力を尽くして参ります。皆さんの一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

国際ロータリー第2530地区、東北第一分区についてお話をさせていただきます。

分区行事といたしましては

- ①ガバナー歓迎晩餐会 ホストクラブ 二本松ロータリークラブ
- ②新入会員オリエンテーション ホストクラブ 福島西ロータリークラブ
- ③新世代会議 ホストクラブ 福島南ロータリークラブ
- ④インターシティーミーティング (IM) ホストクラブ 福島ロータリークラブ
- ⑤親善ゴルフ大会 ホストクラブ 二本松あだたらロータリークラブ
- ⑥第一分区幹事セミナー ホストクラブ 福島21ロータリークラブ
- ⑦麻薬撲滅キャンペーン ホストクラブ 福島西ロータリークラブ・二本松ロータリークラブ・二本松あだたらロータリークラブ
- ⑧あれこれなんでも相談会 ホストクラブ 福島中央ロータリークラブになります。

その中で、インターシティーミーティング (IM) がこちらの福島RCにお世話になり来年3月13日に開催する予定となっております。

福島ロータリークラブの皆さまには多くのクラブ行事で大変お忙しいかと存じますが、分区行事にも特段のご理解とご協力を宜しくお願いします。そして、芳賀ガバナーを東北第一分区あげて盛り上げて参りましょう。

わたくしも、東北第一分区の7クラブに第一回のガバナー補佐訪問をさせて頂き、たくさんの友情と「つながり」を感じながら、貴重な経験をさせて頂いております。そして、大変感心する例会のあり方を拝見することができました。

あるクラブの新入会員入会式に立ち会いました。入会者は会場に入らず、皆さんが会場で全員立ち上がり、整列され大きな拍手の中、音楽と共に推薦者と会場に入場され、おごそかな中で入会式が行われました。またあるクラブでは、入会した会員の名前を一年間、敬意と歓迎の気持ちで貼りだしているクラブもありました。各クラブで何気なく当たり前に行っていることに、クラブを反映させる大きなヒントがあることに気が付きました。また、入会審査にしっかりと時間を費やし、ロータリーとは何か!をしっかりと伝え、よく理解した上で覚悟を決めて入会されるクラブもございました。このようなクラブは退会される会員が少ないようです。これも大変ためになりました。例会の運営でも、地区に出向いた会員さんが研修の内容や感想を述べるクラブもございました。このようなことは地区とクラブ会員を「つなぐ」大変良い慣習であると感じました。各委員会の報告では、会員の奉仕の内容を掲示板に張り出すクラブもありました。

各クラブの例会の出席率はおおよそ60%ぐらいですので、どうすれば良くなるかを共通課題として検討してみたいと思っております。

自分なりのロータリーについてお話をさせていただきます。

28年前に入会して以来 奉仕としては、地域に重点をおいてきました。公園など植樹各施設などにも駅や、道路の脇などにはプランターを設置してパンジーなどの花の植え付け3年前まで続けていました。また、智恵子の森公園には石で作った、椅子テーブルを寄贈しました。クラブとしては、これらの社会奉仕の思いを会員と共に協議のうえ、実行してきました。自分も仕事をしている中での奉仕ですので、地域の人々に喜ばれることがより良い奉仕であると思います。現役でいられる限り奉仕は続けて行くつもりです。

RI会長マーク・ダニエル・マローニーさんが8月4日福島に来県しました。福島中央ロータリークラブの「30周年事業特別例会」に参加して和やかに開催されました。会長夫妻には、初めて会いましたが、穏やかな性格の夫妻でとても感激いたしました。来賓のあいさつ後、マローニー会長の祝辞の中で、福島県沖の地震が発生し震度4、5でしたが会長は、びっくりもしないでテーブルにつかまっていました。その時マローニー会長の体と心の大きさ感じました。市長さんが、すぐに収まりますと話しますと、慣れているようなことを話していました。会場も収まりスピーチは通訳を通して、お話を30分、懇親会では会員の方たちと名刺交換などをしてくれました。私も通訳を通じて、名刺交換をしました。

翌5日には被災地視察に、私は同行しませんでした。夕方猫魔ホテルでのRI会長夫妻歓迎晩餐会には、会員が260名の参加で19時から開催されました。その中でも、ガバナー経験者、国際ロータリーの理事などのあいさつ後、マローニー会長のスピーチが通訳を通じてお話をしてくれましたが、残念ながら離れたテーブルでしたので、よくは聞こえませんでした。会員さんたちも、静かに聞き入っていました。懇親会前には、東山温泉の芸子さんたちによる歓迎の舞を披露しました。マローニー夫妻も浴衣に着替えをして楽しんでくださり大喜びでした。大変有意義な2日間でありました。

先日の8月10日福島市で「復興フォーラム」第一回実行委員会が開催されました。各クラブへの「復興フォーラム」における依頼事項を説明したいと思います。

2020年3月は、東日本大震災から10年目に入る月であり、3月26日には「復興オリンピック」の聖火リレーが福島県から出発する特別な意味を持つ月となります。東日本大震災に際し、当地区に世界から寄せられた多くのご支援の現状や未来への希望を発信するという趣旨で2020年3月21日(土)、22日(日)に「復興フォーラム」を開催する予定であります。

つきましては、この機会に各クラブより、これまでの8年5か月の間、各地域で復興支援を受け、自らも支援活動を行ってこられた多くの実績を、とりまとめたいと考えております。また支援活動が姉妹クラブや友好クラブ等に発展し現在の奉仕活動につながっているというような事例等もお寄せいただき、資料のご提供をお願いしたいと思います。

当地区から東日本大震災からの復興を発信することで、今年度のRIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」を体現し、更なるロータリーの活動の発展につながるようにしたいと考えております。

各クラブの皆様におかれましては、ご多忙のところ恐縮ですが、この趣旨をご理解のうえ、9月30日(月)までガバナー事務所へ、ご提供をお願い致します。

続きまして、現時点での復興フォーラムの内容をお話します。

○3月21日(土)

午前中は福島市からバスで被災地現状視察を行います。行先は浪江、南相馬など視察します。

- ・15時に福島市に戻り
- ・16時30分より参加者懇談会
- ・17時から「吉田昂城君帰国演奏会」
- ・17時30分から参加者懇談会が行われます。

○3月22日(日) パルセいいざかで

- ・9時からイベント「青少年交換スプリングキャンプ」。3地区の派遣学生による決意表明のスピーチをいたします。
- ・10時から開会セレモニー
- ・10時45分から青少年シンポジウム(スライドで紹介)
「若者が語る3.11とこれからの福島」
震災を学び伝え続けている若者からのメッセージ
震災をきっかけに未来への扉が開いた青年の物語
「吉田昂城」
- ・昼食後、13時からロータリーは世界をつなぐ(スライドで紹介)
①あの日の福島はそしてロータリアンはどう動いたか
②3.11を学びに変えて
被災時の留学生の対応の教訓から生まれた危機管理対策など
- ・14時休憩をはさみ
- ・14時10分から
③伝えきれないありがとう～震災がつないだロータリーの友情～ 全世界からの支援の一部を紹介
- ・15時からフィナーレ
福島から世界へ「つなごう希望の光」～映像と共に～
- ・15時30分 閉会セレモニー ～感謝のメッセージ～

むすびに、これから一年間、県北第一分区の会員の皆さまの「つながり」と「会員の絆」を大切に、またご理解とご協力をお願いしまして、内藤幹事と濱崎幹事と力を合わせて、県北第一分区の事業と目標達成のために「気合を入れて」務めさせていただきます。

以上で、私のスピーチをおわります。
ありがとうございました。

私のひとこと

年齢を重ねるにつれ、近頃仏教の本を読む機会が増えてきました。私は仏教系の大学出身ですが、若い頃は宗教に全く興味がありませんでした。それが最近、大学時代の本で仏教に関するものを調べたりする機会が増えました。

私の家の菩提寺は曹洞宗の寺で禅宗、いわゆる禅仏教に属します。先日、「仏教のすべて」という本に、「禅は自力で、浄土は他力で」のタイトルを見つけ読んでみました。面白かったので紹介します。

禅仏教は、私たちは自ら修行（座禅）を積んで自力で煩惱を取り除かなければならないと説いています。仏性は普段「煩惱」に取り囲まれ、私たちの心の奥底に埋もれているので、この仏性を覆う煩惱を取り除く必要があるとしています。それに対して、浄土仏教は、自分の力ではとても無理なので、仏の慈悲にただひたすらすがって仏の世界（浄土）で成仏する（悟りを開く）と説いています。ちなみに、仏の世界である浄土は一つではなく、報神仏と呼ばれる仏たち毎に浄土（仏国土）を持っていて、例えば阿彌陀如来は西方浄土、薬師如来は東方浄土（瑠璃光浄土）があります。

生前に修行するか？死後仏にお願いするか？そもそも自分で決めた宗派でもなく、何となく家の寺がたまたま禅宗である私はどうすればよいのか、若干悩む今日この頃です。



佐藤武彦 会員

お客様並びに来訪ロータリアン紹介



■ RI第2530地区
県北第一分区分
ガバナー補佐
ゆさ きんいち
遊佐 金一 様
(二本松 RC)



■ RI第2530地区
県北第一分区分
幹事
はまざき ひろし
濱崎 広志 様
(二本松 RC)



■ 川俣ロータリークラブ
会長
いけだ よしひる
池田 義寛 様



■ 川俣ロータリークラブ
幹事
ふるかわ そういち
古川 壮一 様

例会スケジュール

9月5日(木) 12:30 ~ クーラクーリアンテ サンパレス

【通常例会】新会員スピーチ

加藤容啓 会員 (福島銀行 取締役社長)

小野悦也 会員 (損保ジャパン日本興亜 福島自動車営業部長)

■ 9月誕生祝い ■ 「友」9月号紹介

ニコニコBOX 報告 本日のニコニコBOX投入額 29件 ¥64,000 累計 ¥451,000 [報告] 八子英器 委員

遊佐 金一 ガバナー補佐

本日第二回ガバナー補佐訪問です。宜しくお願ひ申し上げます。

右近 八郎 会長

本日は遊佐ガバナー補佐をお迎えしています。

スピーチ宜しくお願ひします。

菅沼 裕 幹事

県北第一分区分ガバナー補佐・遊佐金一様、分区分幹事・濱崎広志様、川俣RC会長・池田義寛様、幹事・古川壮一様、心より歓迎申し上げます。

江波 恒夫 会員

弊社無線鉄塔は、現在赤・青・緑の3色で点灯しています。東京パラリンピックのシンボルカラーです。開催まであと1年。点等は9月6日までです。お楽しみください。

小野 悦也 会員

天候不順ですが、台風災害など起こらぬよう祈ってます。

茂田 士郎 会員

一部の高齢者の交通事故が大きく報道され、高齢者が自動車を運転することは“悪”であるような風潮があります。

しかし、我々後期高齢者は現役世代に自家用車を駆使して、さまざまな文化活動や社会福祉活動に貢献してきました。そのことを正しく評価してもらいたいのです。運転免許証を返納しましたが、これからはバスやタクシーを利用してさまざまな活動に参加する意欲を継続しながら、少なくとも膝を抱えての廃用症候群になることだけは避けたいと考えています。

幡 研一 会員

遊佐金一ガバナー補佐と分区分幹事を歓迎して。

川俣RCの皆様を歓迎して。

古俣 猛 会員

遊佐ガバナー補佐、本日はどうぞ宜しくお願ひ致します。

川俣RC、池田会長、古川幹事を歓迎して。

クラブ会員より

熊谷 謙/佐藤美奈子/加藤義朋/佐藤英典/長谷部一雄/友田久也/丹治正博/田沼紀美子/佐藤 徹/岡田新也/丹羽和也/相良元章/安藤健次郎/坪井大雄/五阿弥宏安/村上守人/白岩康夫/増子 勉/望月大輔/内池 浩/八子英器